

もくじ

1. はじめに	4
1-1. ITF Viewer+ について	4
1-2. 動作環境	4
2. ITF Viewer+ の起動と終了	5
2-1. ITF Viewer+ を起動する	5
2-2. ITF Viewer+ を終了する	5
3. ITF Viewer+ の画面概要	6
4. ITFファイルを開覧する	9
5. ITFファイルを印刷する	10
6. ITFファイルをメールに添付する	11
7. NETセキュリティのセキュリティ設定を変更する	11
8. ITFファイルのプロパティを開覧する	12
9. ITFファイルのセキュリティ設定について	14
10. ヘルプを見る/バージョンを確認する	15
10-1. ITF Viewer+ のヘルプを見る	15
10-2. ITF Viewer+ のバージョンを確認する	15
11. インターネット接続環境をを設定する	16
12. ITF Viewer+ をバージョンアップする	17

1. はじめに

この度は、弊社製品「ITF Viewer+」をお買い上げいただきまして、誠に有難うございます。

ご使用いただく前に、本書をよくお読みいただき、製品を正しくお使いください。

また、本書はいつでもご覧いただけるよう、保管しておいてください。

1-1. ITF Viewer+ について

「ITF Viewer+」は、本プログラムのセットアップされたPCがアクセス可能なディスク（ネットワークを含む）に保存されたITF形式ファイルのみを表示し、効率よく管理するための専用アプリケーションです。

ITF形式とは、知的財産権を守るために開発された、高セキュリティなドキュメントファイルです。

セキュリティの強度は、ITFファイルの作成者により、一方的に指定できます。

従って、閲覧者はその範囲内でしか、ドキュメントを扱えません。

また、ITFファイルは、閲覧専用のアプリケーション「ITF Viewer」以外では閲覧できませんので、さらに高いセキュリティを維持することができます。

※ ITFファイルの閲覧には、ITF Viewer を使用します。

ITFファイル閲覧時の操作につきましては、ITF Viewer のヘルプをご覧ください。

1-2. 動作環境

■対応OS

Windows 10 (32bit/64bit), Windows 8.1 (32bit/64bit), Windows 8 (32bit/64bit),
Windows 7 (32bit/64bit)

■メモリ

512MB以上推奨

■空ディスク容量

5MB以上推奨

※作業容量は別途必要。

必要容量は、用紙サイズ・解像度・ページ数により変化します。

解像度(dpi)	必要容量
300 (既定値)	約30MB
200	約15MB

■その他、制約事項など

●次の場合に、インターネットへの接続が必要です。

1. ライセンス認証
2. 有効期限が設定されたITFファイルを開覧する時
3. NETセキュリティを使用した、ITFファイルの閲覧時

●ITF作成・閲覧時の速度は、お使いのPCのCPU、メモリに大きく影響されます。
より高速な動作をご希望の場合は、これらの性能をアップしてください。

●ITF閲覧の際、一時的に圧縮前と同等の作業容量が必要になります。
高解像度の大幅図面などを閲覧の際は、ディスクの空き容量にご注意ください。

●64bitのOS上では、32bit互換モード (wow64) で動作します。

●本製品のインストール・アンインストール、及び一部機能のご利用には、コンピュータの管理者権限でのログオンが必要です。

2. ITF Viewer+ の起動と終了

2-1. ITF Viewer+ を起動する

Windows のプログラムメニューから、[ITF Viewer+] を選択してください。

また、インストール時にデスクトップにアイコンを作成するよう指定した場合は、デスクトップ上のアイコンをダブルクリックしてください。

ITF Viewer+ が起動します。

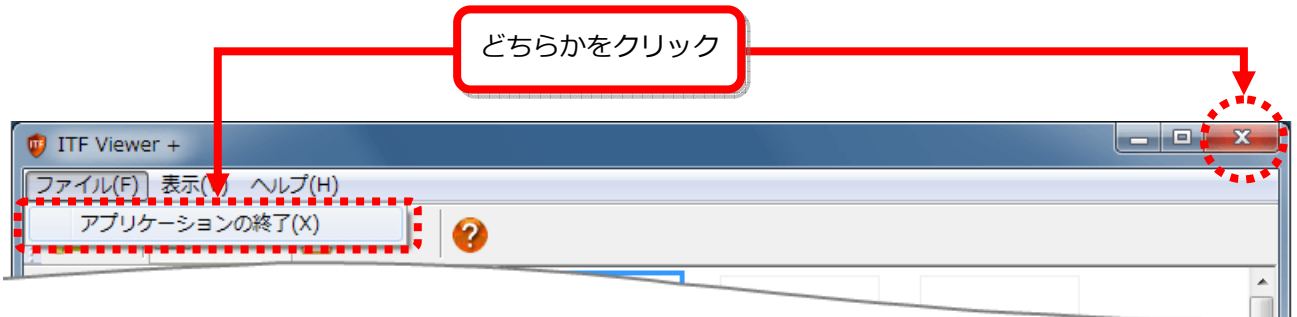


■インフォメーション

ITFファイルを直接開いた場合は、ITFファイル閲覧画面 (ITF Viewer) が起動します。

2-2. ITF Viewer+ を終了する

ITF Viewer+ を終了するには、下の操作を行ってください。



3. ITF Viewer+ の画面概要

メインメニュー
動作設定の変更などを行います。

ツールバー
代表的な操作コマンドのショートカットボタンです。

ステータスバー
操作の説明や、選択中のアイテムに関する情報を表示します。

Windows の「エクスプローラ」とは異なり、フォルダ、またはそれに類するオブジェクトと ITFファイル以外は表示されません。

フォルダビュー
ディスク上のフォルダを、ツリー形式で表示します。

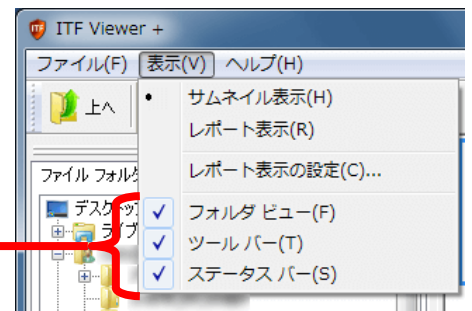
ファイルビュー
選択中のフォルダ内にある ITFファイル、およびサブフォルダが表示されます。

■インフォメーション

ITF Viewer+ では、ITFファイルやフォルダの操作 (移動やコピー、削除、名称変更など) は行えません。これらの操作が必要な場合は Windows の「エクスプローラ」を使用するなど、通常ファイル操作で行ってください。

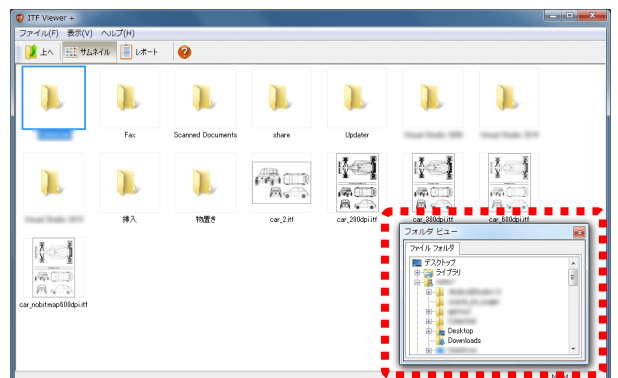
フォルダビューとファイルビュー、並びにステータスバーは、[表示] メニューにて表示/非表示を切り替えることができます。

各ビューやバーの表示/非表示状態を切り替えます。
チェックが入っているものは、表示されています。
非表示にしたい場合は、対象のビューやバーをクリックして、チェックを外してください。

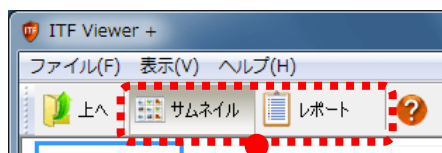


また、フォルダビューはフロート状態にすることができます。フロート状態にすることでファイルビューを大きく取れ、より多くのファイルを一度に確認することができます。

なお、各ビューやバーの表示/非表示、フォルダビューのフロート状態は、次回起動時にも引き継がれます。



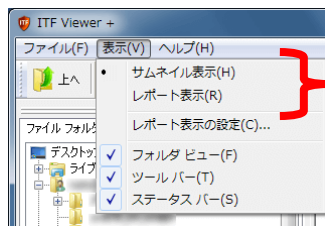
ファイルビューには、サムネイル形式とレポート形式の2つの表示形式があり、目的に応じて切り替えることができます。



選択中の表示形式のボタンが反転表示になっています。使用する表示形式のボタンをクリックしてください。

■インフォメーション

表示形式の切り替えは、[表示]メニューからも行えます。



選択中の表示形式には「●」が表示されます。使用する表示形式を選択してください。

■サムネイル形式

ITFファイルの内容がサムネイル (縮小表示) で表示され、目的のファイルを視覚的に探すことができます。



A : お使いのPCで作成されたファイル
 N : NETセキュリティを使用
 M : メディアロック
 C : CD/DVD固定
 H : セキュリティ設定非表示
 赤色表示 : 閲覧不能なファイル

企画概要書.itf

選択中のITFファイルが複数ページある場合、キーボードの [PageUP]/[PageDown] キーでサムネイルの表示ページを変更できます。

■レポート形式

ITFファイルのページ数やファイルサイズなど、さまざまな情報をレポート表示します。ファイルの詳細情報を確認しながら目的のファイルを探したり、各々の項目でソート (並べ替え) ができます。なお、レポートの項目や順序、各列の表示幅などを、お好みに合わせて変更することができます。詳しくは「**■レポート形式表示のカスタマイズ** (→P.8)」をご覧ください。



A : お使いのPCで作成されたファイル
 N : NETセキュリティを使用
 M : メディアロック
 C : CD/DVD固定
 H : セキュリティ設定非表示
 赤色表示 : 閲覧不能なファイル

■レポート形式表示のカスタマイズ

ファイルビューのレポート形式表示では、表示項目や順序、列幅を任意に変更することができます。

変更するには、[表示]メニュー内の[レポート表示の設定]を選択してください。

[レポート表示の詳細設定]ダイアログが表示されます。

下の説明に倣って設定を行い[OK]ボタンをクリックすると、設定がレポート表示に反映されます。

選択中の項目を上下に移動します。

表示可能な項目。
表示対象のものにチェックが入っています。
また、このリストの順番で項目が表示されます。

選択中項目の表示幅を変更します。

設定を中止し、このダイアログを閉じます。

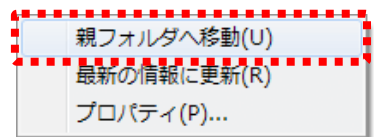
選択中項目の表示/非表示を切り替えます。

現在ファイルビューに表示されているフォルダから1階層上のフォルダに移動するには、ツールバーの[上へ]ボタンをクリックしてください。

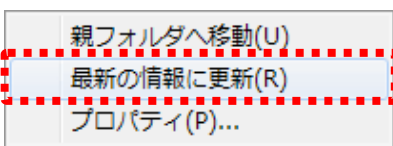


■インフォメーション

この操作は、ファイルビュー上で右クリックすると表示される、ポップアップメニュー内の[親フォルダへ移動]でも行えます。



ファイルビューやフォルダビューに表示されている情報が実際の状態と一致していない場合は、キーボードの[F5]キーを打鍵するか、各ビュー上で右クリックすると表示される、ポップアップメニュー内の[最新の情報に更新]を選択してください。

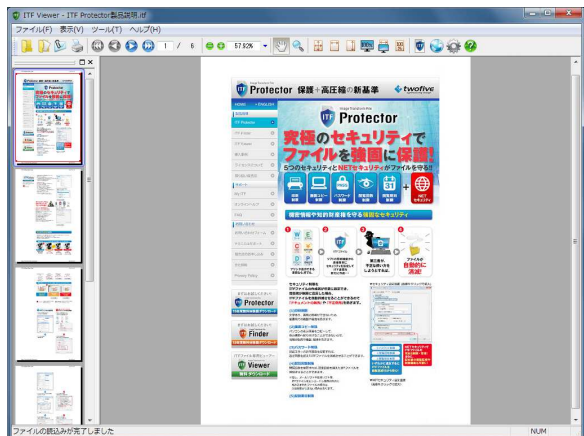


4. ITFファイルを開覧する

ファイルビュー内のITFファイルを開覧するには、対象のファイルをダブルクリック、または選択してキーボードの [Enter] キーを打鍵してください。

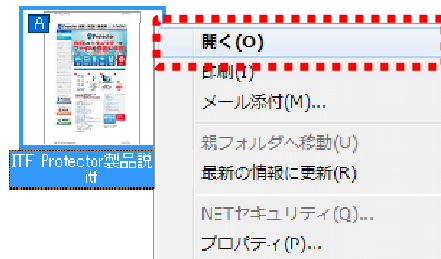
ITF Viewer が起動し、対象のITFファイルを表示します。

ITF Viewer の操作に関しては、ITF Viewer のヘルプをご覧ください。



■インフォメーション

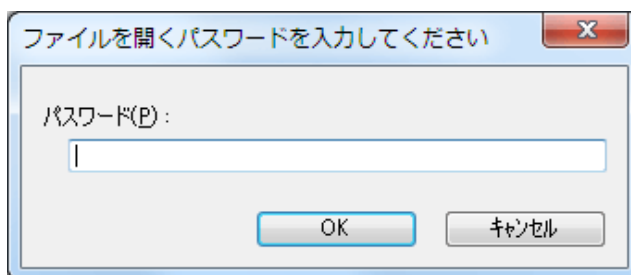
ファイルビュー内のITFファイルを右クリックすると表示される、ポップアップメニューの [開く] から閲覧を開始できます。



ITFファイルにパスワードが設定されていた場合、右のパスワード入力ダイアログが表示されます。

パスワードを入力して [OK] ボタンをクリックしてください。

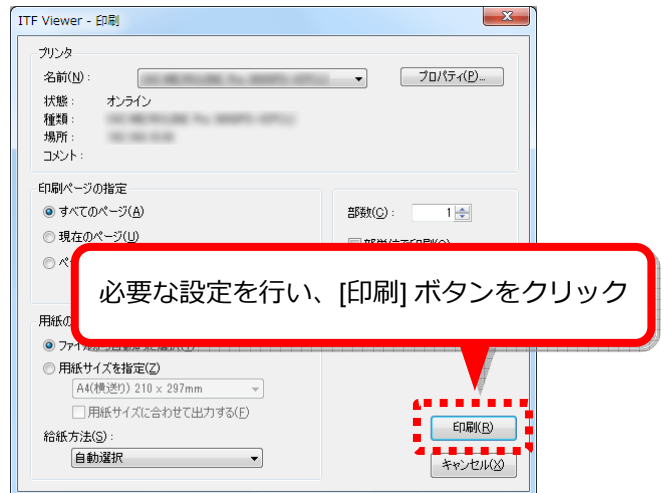
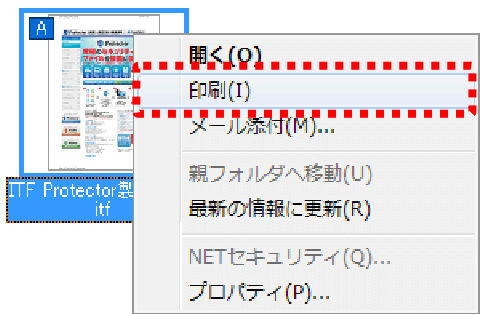
認証に成功すると、ITFファイルの閲覧が開始されます。



5. ITFファイルを印刷する

ファイルビュー内のITFファイルを印刷するには、対象のファイルを右クリックし、表示されるポップアップメニュー内の [印刷] を選択してください。

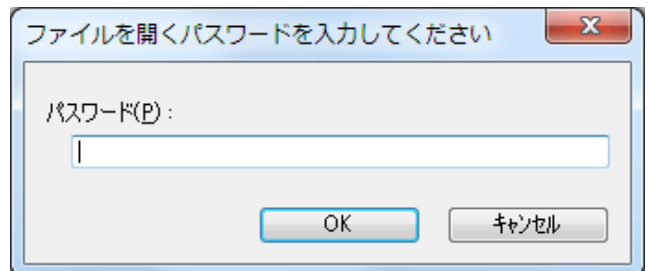
ITFファイル閲覧画面 (ITF Viewer) から印刷はできますが、ここで説明する操作は ITF Viewer を介さずに印刷を行います。



また、ITFファイルにパスワードが設定されていた場合、右のパスワード入力ダイアログが表示されます。

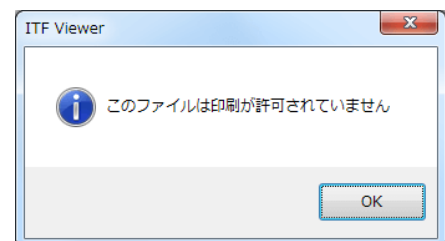
パスワードを入力して [OK] ボタンをクリックしてください。

認証に成功すると、ITFファイルの印刷が開始されます。



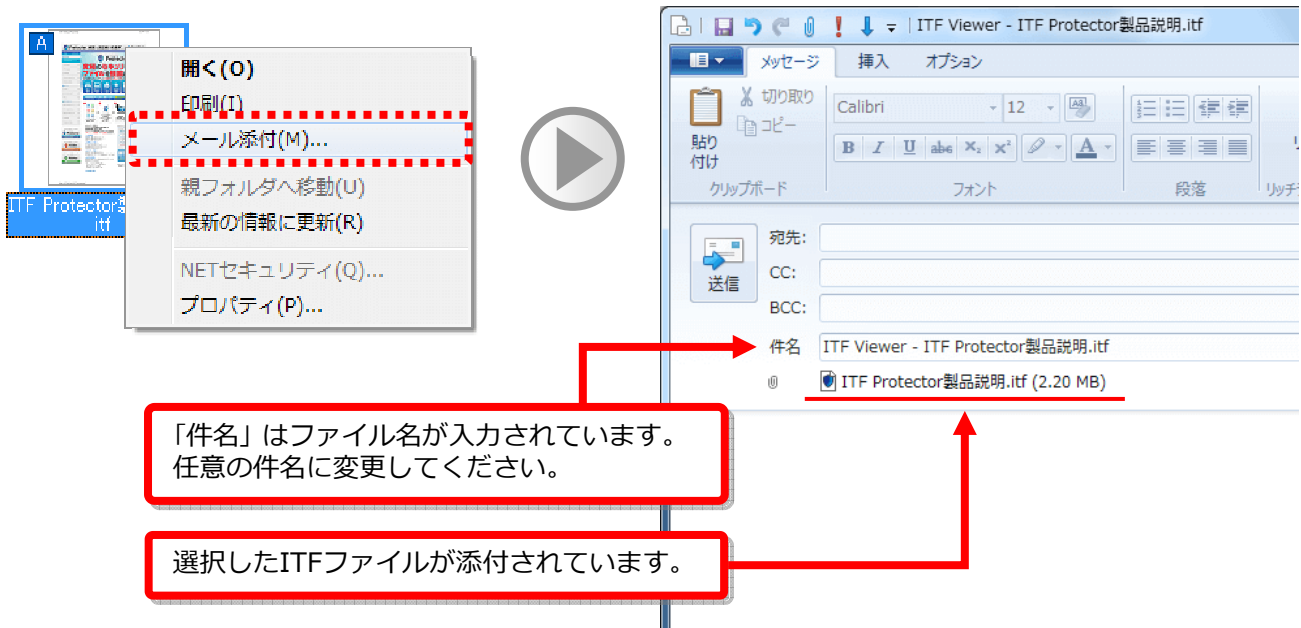
■ご注意

対象のITFファイルに印刷許可がない場合、印刷することはできません。



6. ITFファイルをメールに添付する

ファイルビュー内のITFファイルを添付した状態の、メール作成画面を呼び出すことができます。対象のITFファイルを右クリックすると表示される、ポップアップメニュー内の [メール添付] を選択してください。ITFファイル閲覧画面 (ITF Viewer) から同様の操作はできますが、ここで説明する操作は ITF Viewer を介さずにメール作成画面の呼び出しを行います。



選択したITFファイルが予め添付された状態のメール作成画面が表示されます。宛先や件名/本文を編集して、[送信] ボタンをクリックしてください。

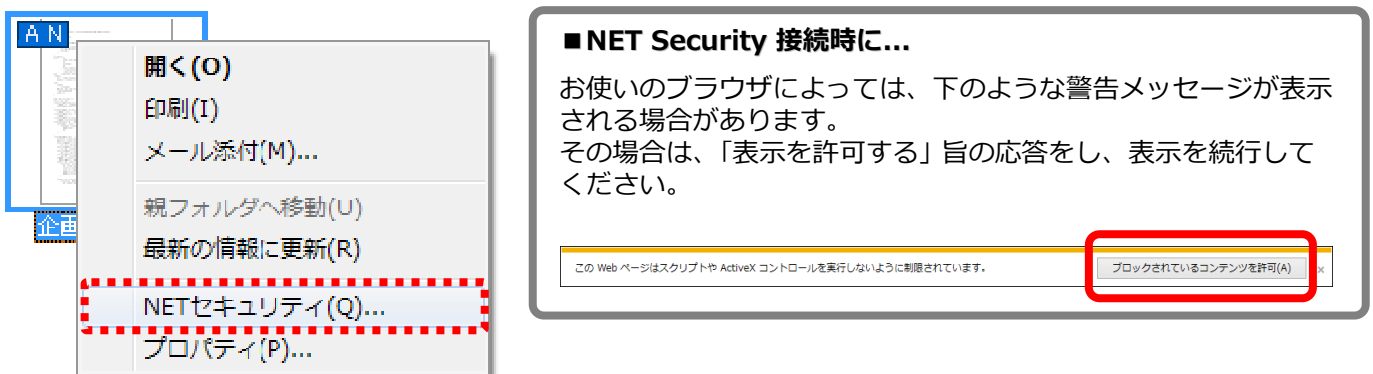
メール編集画面の操作方法につきましては、お使いのメールソフトウェアのヘルプをご覧ください。

7. NETセキュリティでセキュリティ設定を変更する

NETセキュリティを使用したITFファイルは、お使いのPCで作成したものに限りセキュリティ設定を変更することができます。

NETセキュリティは、セキュリティ設定をWebサーバ上に記録し、より厳格にファイル閲覧者にセキュリティ設定を知らせる機能です。

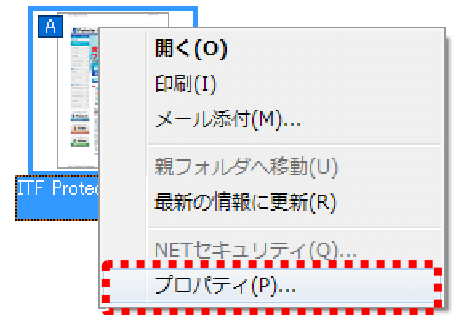
セキュリティ設定を変更するには、対象のITFファイルを右クリックして、表示されるポップアップメニュー上の [NETセキュリティ] を選択してください。ブラウザが起動し、NETセキュリティ専用サイト「NET Security」が表示されます。



8. ITFファイルのプロパティを閲覧する

ITFファイルのプロパティ (情報) を閲覧するには、対象のファイルを右クリックすると表示される、ポップアップメニューの [プロパティ] を選択してください。

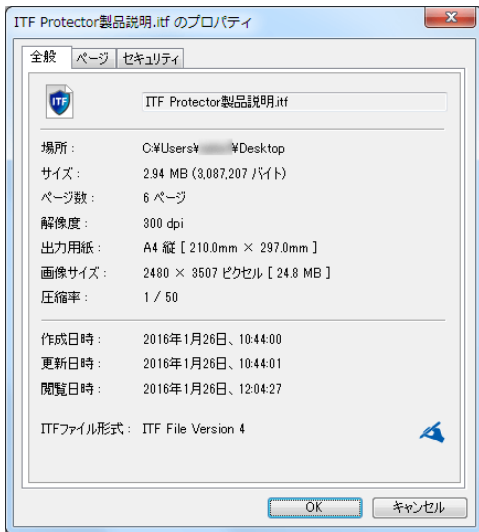
選択したITFファイルの「プロパティ」ダイアログが表示されます。「プロパティ」ダイアログに表示される情報は3つの項目に大別され、各項目はタブで分けられています。



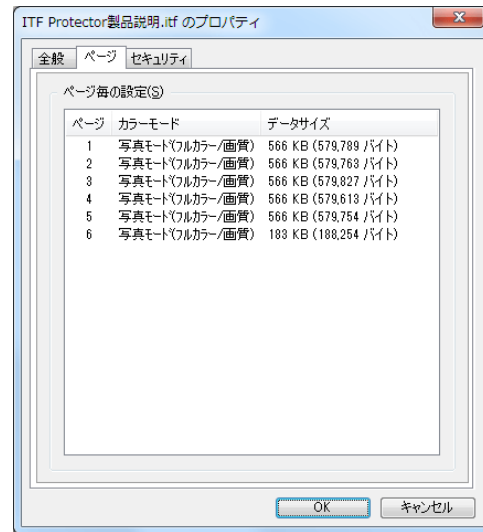
■ [全般] タブ / [ページ] タブ

[全般] タブには、保存場所やサイズなどのファイル情報や圧縮率などの基本的な情報が、[ページ] タブにはページ毎のカラーモード設定とデータサイズが、それぞれ表示されます。

これらのタブは、閲覧に制限はありません。



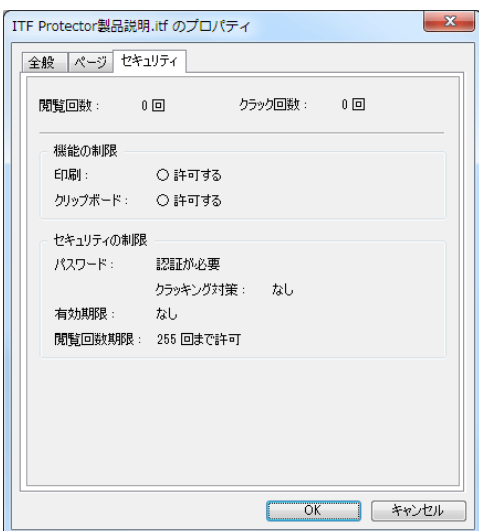
▲ [全般] タブ



▲ [ページ] タブ

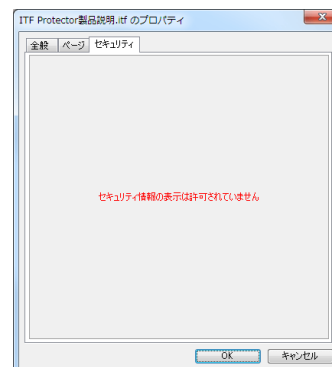
■ [セキュリティ] タブ

ファイルのセキュリティに関する項目で、ファイル作成者が許可していない場合は閲覧できません。




■ セキュリティ設定の閲覧が許可されていない場合は...

[セキュリティ] タブは下のようになり、設定を見ることはできません。



■プロパティの一覧

基本項目	表示	説明
ファイル名		ファイルの名称
場所		格納先のフォルダ名 (フルパス)
ファイルサイズ	サイズ (バイトサイズ)	ファイルのサイズ
ページ数	X ページ	ページの総数
解像度	X dpi	作成時の解像度
画像サイズ	X × Y ピクセル [ビットマップサイズ]	1ページの縦横とフルカラーサイズ
用紙	用紙名 縦/横 [規格サイズ]	作成時の用紙設定
圧縮率	1 / X	フルカラービットマップとの比較圧縮率
作成日時	YYYY 年 MM 月 DD 日、H:M:S	ファイルの作成日時
更新日時	YYYY 年 MM 月 DD 日、H:M:S	ファイルの最終更新日時
閲覧日時	YYYY 年 MM 月 DD 日、H:M:S	ファイルの最終閲覧日時
ITFファイル形式	ITF File Version X	ITFファイルのバージョン。 お使いのPCで作成されたITFファイルには  が表示されます。

セキュリティ項目	表示	説明
閲覧回数	X 回	これまでの累積閲覧回数
クラック回数	X 回	これまでの累積クラッキング回数 (パスワード認証失敗回数)
印刷	○許可する ×許可しない	印刷の可否
クリップボード	○許可する ×許可しない	クリップボードへのコピー可否
パスワード	認証が必要 なし	パスワード認証設定の有無
クラッキング対策	X 回まで許可 なし	パスワード認証失敗の許容回数 (「なし」は無制限)
有効期限	YYYY/MM/DD H:M まで なし	有効期限設定の有無
閲覧回数制限	X 回まで許可 なし	閲覧回数制限設定の有無
アイコン		このファイルには 「NETセキュリティ」が設定されています
		このファイルには 詳細な閲覧ログ提供要求が設定されています
		このファイルには 「メディア制限」が設定されています
		このファイルは CD-R/RW、DVD-R/RW上でないと閲覧できません

9. ITFファイルのセキュリティ設定について

ITFファイルの閲覧者は、ファイル作成者が設定したセキュリティ制限の範囲内でしか、ファイルを扱えません。ここでは、セキュリティ制限事項と、それに伴う動作/操作について説明します。

■機能制限

○印刷制限

この制限が設定されたITFファイルは、印刷することができません。
この制限は、紙面での情報流出の防止に用いられます。

○クリップボード制限

この制限が設定されたITFファイルは、ファイルが閲覧状態にあり、且つ閲覧ウィンドウが最小化されていない場合、キーボードの [PrintScreen] キー打鍵などによる、スクリーンショットのクリップボード貼付を無効にします。
この制限は、画像化による情報流出の防止に役立ちます。

■セキュリティ設定

○パスワード制限

パスワード認証設定のあるITFファイルは、閲覧時にパスワードの認証が求められ、認証に合格しないとファイルの内容を閲覧できません。
この設定は、パスワードを共有しない人物への情報流出の防止に用いられます。

ITFファイルは、パスワード認証失敗の累積回数を記憶しています。

作成者が認証失敗に許容回数を設けていた場合、累積認証失敗回数が許容回数を超えると、ファイルが削除されます。(セキュリティ違反)

○有効期限設定

有効期限設定のあるITFファイルは、作成者の指定した有効期限が過ぎたファイルを開覧しようとすると、ファイルが削除されます。(セキュリティ違反)
この設定は、時限性のある情報に対して用いられます。

○閲覧回数制限

ITFファイルは、閲覧累積回数を記憶しています。

作成者が閲覧回数に制限を設けていた場合、累積閲覧回数が許容回数を超えるとファイルが削除されます。(セキュリティ違反)

この設定は、ファイル流出時の拡散防止などに役立ちます。

○メディア制限

メディア制限設定のあるITFファイルは、作成者が指定したメディア (USBメモリ、SDカードなど) の外では閲覧できません。

○CD-ROM(R/RW)・DVD-ROM(R/RW) 固定

この設定のあるITFファイルは、CD-ROM、またはDVD-ROM上に記録された状態でないと閲覧できません。
この設定は、NETセキュリティ設定との併用が必須です。

■セキュリティ違反時のファイル自動消滅

上記「■セキュリティ設定」で **セキュリティ違反** と記載した状況になった時、当該のITFファイルは自動的に削除されます。

「作成者の意図に反した閲覧を行おうとすれば、ファイルは消失する」

これにより、機密性の高い情報の交換を、より安全に行うことが可能になります。

■NETセキュリティ

NETセキュリティを使用したITFファイルのセキュリティ設定は、Webサーバに記録/参照されます。

これにより、メール添付などでエンコードされたファイルにもWebサーバの設定が適用され、ファイル閲覧者により厳格にセキュリティ設定を守らせることが可能になります。

また、ファイル作成者は、Webサーバ上のセキュリティ設定をいつでも自由に変更することが可能です。

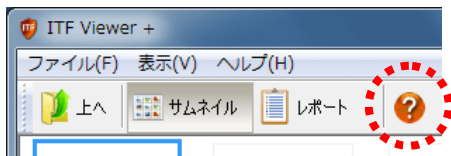
これにより、例えばファイルの流出が発覚したとしても、Webサーバ上の設定を変更することで、情報の拡散を阻止することが可能になります。

10. ヘルプを見る/バージョンを確認する

10-1. ITF Viewer+ のヘルプを見る

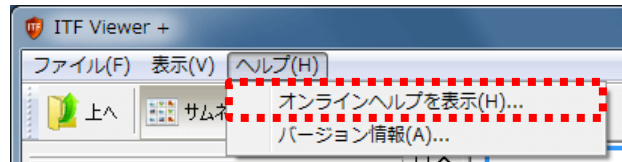
ITF Viewer+ のヘルプ (本書) を表示するには、ツールバー上の [?] ボタンをクリックしてください。ブラウザが起動して、ヘルプページを表示します。

※インターネットに接続されている必要があります。



■インフォメーション

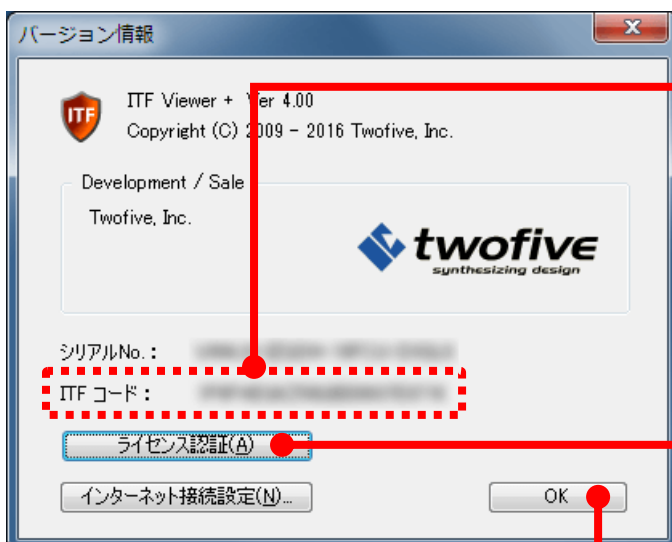
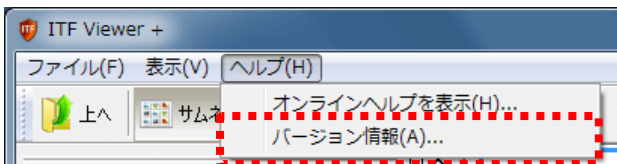
この操作は、[ヘルプ] メニュー内の [オンラインヘルプを表示]、または、キーボードの [F1] キー打鍵でも行えます。



10-2. ITF Viewer+ のバージョンを確認する

ITF Viewer+ のバージョン確認やライセンス認証などを行うには、[ヘルプ] メニュー内の [バージョン情報] を選択してください。

「バージョン情報」ダイアログが表示されます。



ITFコードは、弊社ライセンス製品ご使用のお客様ごとに発行している、特殊なIDです。

NETセキュリティを使用したITFファイルでは、このITFコードを使用した閲覧可否設定が行えます。ITFファイル作成者とのITFコードを共有することで、前述の閲覧可否設定に使用することができますようになります。

ライセンス認証 (手動認証) を行います。

ライセンス認証は、最後に認証を行った日から7日経過すると自動で行われますが、ライセンスの認証に失敗した場合は、ITFファイルが表示されなくなります。

出張などでインターネットに接続できない環境下にPCを持ち出す際は、事前に手動認証を行っておくと、ライセンス認証の失敗によって、ITF Viewer+ が使用できなくなる事態を回避できます。

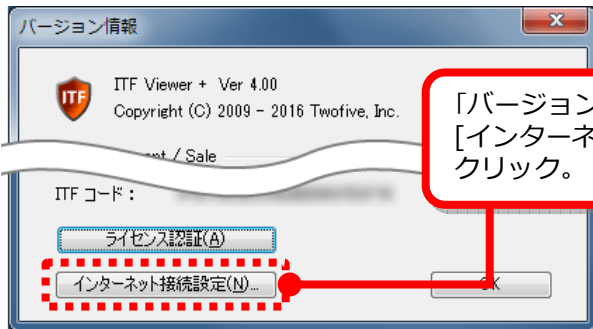
このダイアログを閉じます。

11. インターネット接続環境を設定する

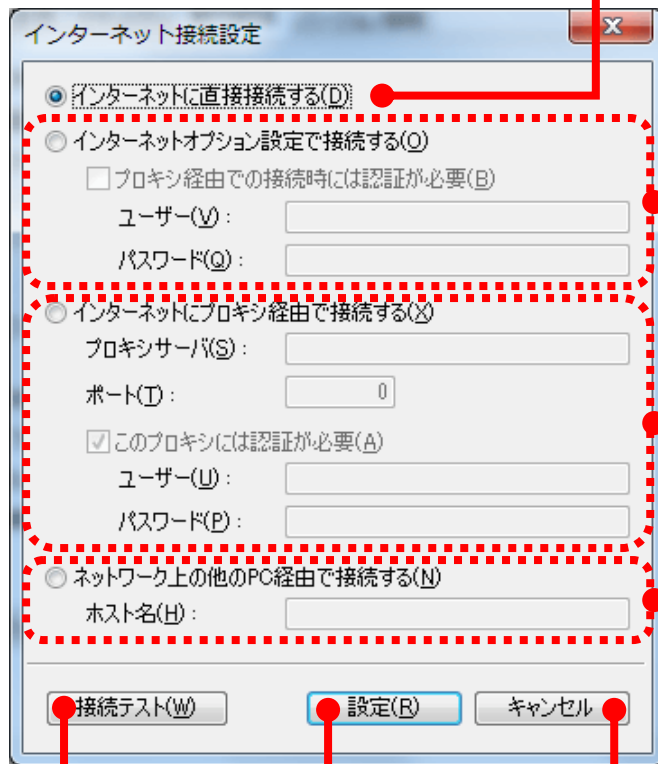
ITF Viewer+ は、ライセンス認証やNETセキュリティを使用したITFファイルの閲覧時など、一部の操作を行う際にインターネットへの接続を必要とします。

もし、お使いのPCがプロキシサーバを介してインターネットに接続されている場合は、ITF Viewer+ にもプロキシサーバ設定が必要です。

プロキシサーバをご利用の場合は、次の設定を行ってください。



「バージョン情報」ダイアログ内の
[インターネット接続設定] ボタンを
クリック。



インターネットに直接接続できる場合は、
こちらを選択してください。

Windows のインターネット接続設定を使用
する場合は、こちらを選択してください。

プロキシサーバ接続時に認証が必要な場合は、
[プロキシ経由での接続時には認証が必要] に
チェックを入れ、ユーザーIDとパスワードを
入力してください。

プロキシサーバ経由でインターネットに接続
している場合は、こちらを選択してプロキシ
サーバ名 (またはIPアドレス) とポート番号を
入力してください。

プロキシサーバ接続時に認証が必要な場合は、
[このプロキシには認証が必要] にチェックを
入れ、ユーザーIDとパスワードを入力してく
ださい。

「License Manager」を介してライセンス認証
などを行う場合は、こちらを選択して接続先
PC名、またはIPアドレスを入力してください。

設定を適用/保存し、この画面を終了します。

画面上的設定で、実際にインターネットに
接続できるかをテストします。

設定を反映せず、この画面を終了します。

■ License Manager について

License Manager は、ネットワーク (LAN、またはWAN) 上のインターネットに接続できるPCにサービスとして常駐し、ネットワーク上のインターネットへの接続が禁止されているPCでお使いの弊社ライセンス製品に対し、インターネット接続が必要な処理を代行して行う、中継プログラムです。

License Manager は、My ITF より無料でダウンロードしていただけます。

12. ITF Viewer+ をバージョンアップする

ITF Viewer+ 起動時に、お使いのバージョンより新しいものが見つかった場合は、下のメッセージが表示されます。新しいバージョンをインストールするには、メッセージに「はい」で応答してください。

新しいバージョンのセットアップがダウンロードされ、セットアップが自動実行されます。

